
昔の話で盛り上がる末續選手（左）と福田さん（右）

オリンピックへの道のり

末續慎吾選手によるトークショー

11月16日（日）、末續慎吾選手によるトークショーがつなぎ文化センターで行われました。当日は、九州学院高等学校時代の先輩で津奈木町在住の福田晃一さん（丸岡地区）も急きょステージに上がりトークショーに参加。久々に再会した二人は当時の思い出を楽しそうに話していました。

途中の質問タイムでは、末續選手に走るフォームをチェックしてもらう子どもたちもいて、直々に指導を受けていました。最後に末續選手直筆のサイン色紙が当たる抽選会が行われ、当たった観客は嬉しそうに末續選手と握手を交わしていました。

町に優しい和の灯り

町を明るく！竹あかり事業

10月25日（土）、グリーンゲイトイベント広場周辺に約220本の竹あかりが設置されました。これは寒い冬の時期を温かみのある灯りで町を明るく飾り活性化しようと、商工会青年部を中心に集まった実行委員会が取り組んでいるものです。

約20人のメンバーが10月半ばから約2週間かけて竹の切り出しから模様の切り抜きまでを全て手作りで行っており、中でも高さ2.5メートルのオブジェはひときわ輝いています。竹あかりは2月末までの毎日午後5時半から午後9時半まで点灯しています。


優しい光で広場を灯しています

和の音楽に魅了される


生徒たちは和の音色に聞き入っていました

町内学校邦楽アウトリーチ事業

日本の伝統音楽の地歌（じうた）や箏（こと）、尺八の生演奏を授業で鑑賞する邦楽アウトリーチ事業が11月10日（月）～13日（木）まで町内の各小・中学校で行われました。

これは熊本市の県立劇場が邦楽の魅力を伝えようと演奏家を各地に派遣する事業で大阪在住の演奏家 菊央雄司さん（地歌・三味線）、横山佳世子さん（箏）、小林鈴純さん（尺八）を招き行われました。

当日は「春の海」など5曲を披露。途中、生徒たちに実際に地歌を歌ってもらうと生徒たちは恥じらいながらも笑顔で歌っていました。

高齢者の交通事故ゼロを目指す

交通安全蛍光ベスト寄贈


左から石田さん、森下さん、西平さん、新立さん

11月18日（火）、津奈木町交通安全協会から交通安全母の会と津奈木町老人会へ蛍光ベストが寄贈されました。これは高齢者が夜の散歩などを行うときに身につけ安全を確保できるように、また、町の交通安全の啓発を促すために寄贈されたものです。

交通安全協会の森下さんは、「最近、高齢者の交通事故は減ってきているが、事故は忘れたときに起きてしまうので改めて交通安全に努めてほしい」と話すと、交通安全協会の森下さんと西平さんから、交通安全母の会会長石田さんと老人会会長新立さんへ直接手渡されました。

皆が協力し合う社会へ

男女共同参画川柳表彰

11月8日（土）、男女共同参画の意識の推進のため募集した川柳の表彰式がふれあい祭りのステージで行われました。これは津奈木男女共同参画推進懇話会が小中学生を対象に行ったものです。

【中学生の部】（敬称略）
最優秀賞　3年　濱田（はまだ）　開臣（かいしん）（染竹）
『母の家事　そっと手を貸す　思いやり』
【小学生の部】
最優秀賞　5年　農﨑（のうざき）　琳菜（りんな）（中尾）
『パパとママ　いつも協力　楽しそう』


表彰を受ける濱田開臣君（左）


元気な泣き声が響いた赤ちゃん土俵入り

伝統をつなぐ相撲大会

天子宮大祭相撲大会

11月8日（土）、平国地区にある天子宮で、天子宮奉納相撲大会が行われました。この相撲大会は毎年11月8日に行われ、100年以上続いています。

大人力士による迫力のある取組や平国小学校男子児童による小学生相撲が行われ、力士たちの熱い戦いに会場は歓声と拍手がわき起こっていました。

今年は9人の赤ちゃんがまわしとハチマキを身につけ健やかな成長を願う「赤ちゃん土俵入り」に参加しました。大人力士に抱えられた赤ちゃんは元気な声を上げて泣いていました。